

【震災募金口座】 振替 00140-9-180881  
宗教法人日本バプテスト連盟総務部

### 福島は今～原発30km圏からのレポート<6> 「変わりゆく被災地」

笹子美奈子（目白ヶ丘教会員）

東京電力福島第一原発事故から7年。被災地はだいぶ様変わりしたところがあれば、いまだに時計の針が止まったままのところもあります。

福島第一原発といわき市の中間にある広野町では人材派遣の看板をよく見かけます。町に人が戻らぬ一方で国主導の復興事業の発注は多く、人手不足が深刻なようです。町役場の敷地にオープンしたショッピングモールでは、ベトナム人の集団を見かけました。聞けば広野町に住み込みで働いているとのことでした。

福島第一原発の作業拠点だった楡葉町のJヴィレッジは駐車場として使われていましたが、サッカーコートに戻すべく芝生を張る作業が始まっています。

桜の名所として知られた富岡町の夜の森公園は、警察官による警備の下、バリケードで封鎖され、立ち入りが厳しく制限されていましたが、今では門が半開され、警備員の姿も見当たりません。帰還困難区域と道路1本隔てた場所には新築のアパートが建てられ、除染作業員が暮らしているようです。JR富岡駅は駅舎が津波で破壊され、線路は雑草が高く伸びていましたが、きれいに修復され、電車が開通しました。

大熊町の福島第一原発付近では、1時間当たりの放射線量が2マイクロ・シーベルトを超えていました。東京では0.1を超えることはありません。

風向き関係で高放射能にさらされた浪江町では、津波が襲った時刻で針が止まったままの時計が、小学校の校舎

にそのまま残されています。一方、数km離れた中学校には真新しい新築校舎が建てられています。漁港も修復され、高さ7mを超える堤防の建築が着々と進んでいます。

人っ子1人歩いていない町に建てられたピカピカの建物を見るにつけ、箱物先導で復興事業を無理くり進め、原発事故を「なかったことにしたい」という国の意地を感じました。戻った人が偉くて、戻らない人が罪悪感に駆られる。被災者にそんな圧力をかけているように思えます。福島県外で暮らす被災者は3月時点で約3万4100人。

「これじゃそだよな」。7年後のこの地に立って思う率直な感想です。

国の復興事業も政治家の言葉も、とても被災者に寄り添ったものではないと思うのですが、実は私自身、被災者に寄り添うとはどういうことなのか、答えが見つからないままです。被災者の状況は多様で刻々と変化し、何で心を痛め、何を必要としているのか、理解するのは難しいと思います。でも、なかったことにせず、忘れない。そのことだけは誓いたいと思います。



写真は、津波が襲った時のまま止まってしまっている請戸小学校（上）とゲートが半開きにされたままとなっている夜の森公園（下）



本記事は笹子美奈子さん（目白ヶ丘教会員）のご協力により、第43号から6回シリーズで掲載させていただきました。今回が最終となりますが、原発事故が引き起こした住民の方々の苦しみはこれからも続くことを覚え、お祈りくだされば幸いに存じます。尚、より詳しくお知りになりたい方には、笹子美奈子さんの著書「リンゴが腐るまで 原発30km圏からの報告」（角川新書）864円（税込み）をご紹介します。（事務局）

2018年度被災地支援の働きについては ◇「現地支援委員会ニュースレター」 第34号 4月25日、第35号 9月19日、第36号 2019年1月16日  
◇「祈りの絆」 第48号 4月25日、第49号 8月22日、第50号 12月12日 でお伝えする予定です。

### 7年前をふりかえる 福島あゆみの家キリスト教会牧師 渡辺政友

東日本大震災が起こった時、東北以外の地域に住む方たちはテレビで震災のニュースを見ていたと思います。しかし、東北の大多数の人たちは、停電のためテレビを見ることはできませんでした。私の場合、乾電池式のラジオと新聞で、かろうじて津波被害と福島第一原発の冷却不能のニュースを知ることができました。電気が使えるようになった頃には、津波についてのニュースは終わり、毎日が福島原発のニュースばかりでした。しかし、放射能雲が福島市や郡山市を含めた福島県の内陸部に向かって行ったことは、原発事故直後には公表されませんでした。しかし、政府も完全に情報を隠していたわけではありません。枝野官房長官は、放射性物質の放出について発表しましたが、なぜか「健康に直ちに影響はありません。」と言う文言が繰り返し語られていたように記憶しています。テレビでは福島県各地の放射線量が公表されていました。マイクロ・シーベルトと言う言葉を何度も聞かされました。しかし、当時の私には、数字の意味が理解できませんでした。山形教会の教会員の方から電話がかかって来て、福島から山形に多くの人たちが避難して来ていることを教えてくださいました。山形に避難した方たちは自主避難者です。こんな時でも行政による避難の誘導は、都道府県を越えて行われることはないことに驚きました。

自主避難された方たちが危機感を持つことができた理由は、報道されていた放射線量を知って異常に気づいたからでしょう。原発事故が起こった時に異常に気づくためには、普段から通常の放射線量を把握しておくことが大事です。7年前の私のように、通常の放射線量がわからないならば、原発事故が起こってから放射線量を知っても異常に気づくことはできません。放射線量は通常でも増減がありますから、軽微な変化であれば、あまり心配する必要はありません。しかし、通常の放射線量と比較して極端に増えている場合は、異常が起こっていることになります。



### 2017年度震災募金報告

累計：**748万円**（目標600万円）

感謝してご報告いたします。

2017年12月～2018年3月 募金者 149名・件（受付順、敬称略）

大村古賀島、図書販売、赤塚、目白ヶ丘、大分、中四国連合2017東ブロック修養会、福岡南、東福岡幼稚園、恵、市川大野、直方、久保祐子、川越、神戸：光の丘幼稚園、東京北、広島、調布、四日市、神戸、府中、浜松、富野、西南女学院 中学・高等学校、トリニティ・ベルクワイア 田中由紀子、東京第一、飯塚、徳島、丸亀城東町、伊丹教会付属共同保育「さくらんぼ」、常盤台（恵み幼稚園父兄）、常盤台（恵み幼稚園父兄）、盛岡、宝塚、防府、那覇新都心、シンガポール国際日本語、有田ゴスペルクワイア、三島、大宮、調布、富士吉田、多摩みぎわ、若松 神愛幼稚園、小倉、神戸、大野城市 田中晶矩、伊集院、関西地方連合、秋田、日野神明、ふじみ野教会 青年会、鳥飼、北大阪、静岡、港南めぐみ、春日原、仙川、福岡西部、福岡、仙台長命ヶ丘、西南女学院 大学・短大・本部、西南女学院 シオン山幼稚園、古賀、釧路市民クリスマス、調布、日立、平塚、学）西南学院、福岡城西、品川、久保祐子、米国 PEACHTREE CORNERS BAPTIST 日本語教会、清水栄光、福岡有田、大野城市 田中晶矩、前橋、鳥栖、太田、企救、広島 福島チャリティコンサート、久留米、福岡地方連合 女性会、天城山荘、直方、宣教研究所 震災フォーラム冊子販売、国分、福岡連合社会委員会、別府国際、今治、調布、横浜戸塚、神戸、東大阪、人形げきや おたこ組、西南学院高等学校、西南学院中学校分、山形、若松、福岡城西、横須賀長沢、宮崎、上尾、豊橋、大村古賀島、防府、シオンの丘、シオン山、ふじみ野、京都、神戸伊川、浦和、伊集院、伊丹、下関、花小金井、久留米、高知伊勢崎、春日原、所沢、湘南台、青梅あけぼの、大分、筑波、目白ヶ丘、久留米荒木、恵泉、古賀、神戸新生、大井、大宮、調布南、東山、福岡、洋光台、市川八幡、西川口、相浦光、那珂川、伊都、岡山、高須、金沢、西南学院小学校、香住ヶ丘、志村、相模中央、藤沢、姪浜、那覇新都心

2018年度も引き続きお祈りとお支えをお願いいたします。

<目標額：600万円>